

第7回 通常理事会 議事録

(2023-2024 年度 第7回)

日 時：令和5年12月18日（月）15：00～17：30

会 場：神奈川県建築士事務所協会会議室 および WEB会議システム（ZOOMを利用）併用

○	平山 正義	○	山口 英生	○	小松 正道 WEB	○	山口 雄	○	古室 大悟 WEB	○	白川 幹	○	鈴木 武昭
○	有泉 絵美	△	名和 靖晃	○	永島 優子	○	鈴木 興	△	長友 寛昌 WEB	○	古谷 雄一	○	高橋 康 WEB
×	大和田 優	○	横山 尊重	△	福田 亮一 WEB	○	田中 正幸	△	矢野 高 WEB	×	奈良 直史	○	伊藤 耕人
○	杉本 勝郎	○	佐藤 眞吾	○	松井 正	○	酒井 弘幸						
監事		○	平野 武洋	○	山本 敏夫	○	棕 茂廣			日事連副会長		○	白井 勇
(事務局)磯部事務局長、野口総務課長、 小林業務兼登録課長								議事録作成者:酒井専務理事 (事務局)磯部					

出席者：23名（△は定足数確認時に不在）

司会：古谷総財務委員長

・平山会長挨拶

・理事会開催に先立ち、日事連より協力依頼のあった以下について、AIG 損保より説明。

○広域災害発生時における損害保険に関連する損害調査・評価業務への協力依頼について

・定足数の確認 25 名中（ 19 ）名出席。過半数出席のため定款第 43 条により会議成立を報告。

・定款第 47 条により議事録署名人は会長と出席した監事とした。

・定款第 42 条により会長が議長となり議事を行う。

1 審議事項

第1号議案 会員の入会等について承認を求める件

入会は無く、承認事項は無いため、議案取下げ。

第2号議案 相模原市空家等対策協議会の委員推薦について承認を求める件

資料 1-1 により、磯部事務局長から以下の通り説明。

相模原市長より 11月14日付け5住宅課第2996号で任期満了に伴う委員の推薦があり、相模原支部より推薦頂いた現委員でもある以下の方を推薦することを提案。

推薦者：吉田 雅幸 様（相模原支部 有限会社ヨシダスペースアート一級建築士事務所）

以上、原案通り推薦が承認され、相模原市長宛に推薦書を提出することとした。

第3号議案 令和6年度「マロニエ BIM コンペ」の開催について承認を求める件

資料 1-2 により、山口英生副会長から以下の通り説明。

前回の理事会で検討事項として説明し、ご意見等を頂き、本日の理事会に上程することとしておりましたことを確認。

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会より、令和5年12月5日付け日事連発第116号により当会へマロニエBIM設計コンペティション 2024 の実施についての要請が以下の通りあったこと。また、当会が実施する場合の工程案（とても厳しい工程）と想定される予算概要等を併せて説明。

（事業内容）

BIMを活用した設計コンペを開催するもので、主な事業内容は次の通りとしますが、貴会において適宜決定ください。不明点等は、必要に応じて本会と協議の上、進めてください。

- 1）開催日程、コンペテーマ、課題敷地、課題、審査委員、開催方法の検討。
- 2）関係役員等からなるBIMコンペ運営のための委員会を設置、結成。同委員会において、コンペの応募要項、スケジュール、募集チラシ等を作成し、事業の進捗を管理。
- 3）応募要項に基づき、コンペ参加者を募集。
- 4）応募参加者による、課題を与え同一条件の下で、BIMによる設計作品を競争制作する。
- 5）学識経験者等からなる審査委員会において審査を行い、優秀作品の決定等を行う。
- 6）優秀作品の公表、コンペ実施に係る報告書の作成。

（予算）

日事連補助 500万円（税込）以内

※交付条件については「補助金交付申請等マニュアル」の範囲内とする

（実施案）

- ・実行委員会の発足（ブロックより委員を選出頂くことを想定）
- ・実行委員会は隔週開催を想定（タイトではある）
- ・行政、関係団体、県内にある建築系の学校へ協力を依頼
（知っている所、繋がっている所へ協力依頼をして欲しい）
- ・審査委員も神奈川由来の方々としたい。（男女含めて）
- ・実施予算（概算）については、一番低い想定で450万円程度
- ・短期間で検討、決定することが多い

（ご意見等）

- ・実施する場合、日事連の承認が必要なのか。（時間も無い中での実施なので）

- 承認は不要である。
- ・単位会の直接的なメリットは。
 - 普及が目的だが、実施することにより、会員へのメリットが生まれると考えている。
- ・工程案を見ているが、とても厳しいスケジュールの中での実施となるのでは。また、実施する場合は、各学校へは年度内には周知していった方がよい。
 - オープンデスク等も含め、学生も巻き込んだ大きなイベントとしていきたい。
 - 今年度実施した大阪会の情報ですと一般と学生で半分ずつくらいの応募であった。
 - 学校もB I Mに力を入れているようだ。
- ・現在の工程では隔週で会議開催となっているが、事務局対応も含めて対応できるのでしょうか。
 - 他会は、毎週実施していた。トータル的には、事務局の負担となると思われる。
- ・当会でB I Mを導入している事務所は、何社か把握していますか。
 - 把握はしていない。
 - 前例として、栃木会では、実行委員会の内、B I Mを導入していた方は、2～3人と聞いているので、実行委員会の委員はB I Mが分からなくても良いと考えている。
- ・参加費は取るのでしょうか。
 - 無料です。
- ・実施するには、負担（短期間でやること、決めることが多い）が大きいと思われるので、反対。
- ・能力の問題もあると思う。
- ・今年度、大阪会が実施した後、神奈川会になった経緯が不明。タイミングが遅い。十分な準備期間を設けて打診すべき。
- ・2年に1回の開催とすべきである。
- ・B I Mの使い方が分からない方も多いと思われるので、同時に使い方等の説明も出来れば良いのでは。
 - 大阪会では、ベンダーによるセミナーを同時に実施した。
- ・実施する場合、実行委員会の担当者のメリットは。

以上の内容を含め、多数決を取り決定することを提案。

賛成多数であること、実行委員会を全力で応援することを条件に実施が承認された。

第4号議案 委員会等の新規事業実施に際しての取扱いについて承認を求める件

資料1-3により、古谷総財務委員長から前回の意見と検討結果を以下の通り説明。

（前回理事会での質問・ご意見等）

- ・事業予算が大幅に変更（収入減）となるものとあるが、どの程度を想定しているのか。
 - 30%減等、決めてしまった方がよいのでは。
- ・全体予算として見込んでいる収入のため、収入減となると全体予算もマイナスになってしまう。
- ・各委員会は、理事が担任しているので、その理事の責任範囲で多少の増減は良いのでは。
- ・計画変更した場合で良いのでは。
 - 例えば、「事業計画が大幅に変更となるもの」としては。
- ・総財務委員会で決定して良いのでは。
 - 恣意的な話も出てくると思われる。
 - 各委員会对総財務委員長となってしまうので、もっと活動するためにもルールがあった方がよいと思い提案した。
- ・シンプルにわかりやすくした方がよい。

<12/7 総財務委員会>

○11/16 理事会での意見を古谷総財務委員長が説明。委員会で検討した結果。
分かりやすいよう内容を一部修正し、12/18 理事会へ提出することとした。

○提案内容

- ・事業計画と予算が当該年度に組まれていない新規事業等の取扱いにつきましては以下の通りとし、実施企画書（様式1 記載省略）を直近の理事会に提出し、ご審議頂くこととしたい。

<理事会に上程するもの（案）>

- ① 当年度に事業計画および予算を組んでいないもの
- ② 事業計画に変更（収支減）が見込まれるもの
- ③ 当該年度の実施ではない「過去の実施データ」を使用した講習等（アーカイブ配信）で、事業計画および予算を組んでいないもの（※ 無料講習等も含む）
- ④ 日事連などからの要請により実施する講習会で当会支出が伴うもの

<理事会上程は不要のもの（案）>

- ① 理事会で承認されているもの（委員会事業等）
- ② 日事連からの要請により実施する講習会（※ 当会の負担金（支出）があるものを除く）
- ③ 計画を中止するもの ※中止の理由を理事会で報告してください。
- ④ 委員会が絡まずに事務局で対応するもの

（参考例）

- ・日本建築防災協会主催講習会の神奈川県内受付業務（※受付の手数料がもらえるもの）

（共通）

- ・事業が終了しましたら直近の理事会へ実施報告書（様式2 記載省略）の提出をお願いします。

以上、原案通り承認された。

第5号議案 ワンコインナイト（夜学の会）実施について承認を求める件（青年部会運営委員会）

資料1-3により、有泉青年部会運営委員長から以下の通り実施企画案を説明。

日時：令和6年2月9日（金）

18：00～19：00 夜学の会（内容：建築基準法の基礎を学ぶ）

19：00～20：30 ワンコインナイト（内容：講師を囲んだ交流）

会場：蔵前ギャラリー（藤沢市藤沢 630-1）

※藤沢宿に現存する歴史的建造物であり、昭和初頭に建築された米屋の母屋と内蔵を用いて
平成18年にオープンした「土間、蔵、畳」の3スペースを用いたアートスペース

対象：会員、賛助会員および青年部会員

講師：飯田正典 様（一般財団法人神奈川県建築安全協会）

主旨：ワンコインナイトは、他業種の方をお呼びし、そのアングラカルチャーを、食事等を通じ、話を伺いながら交流を図るというサードプレイス（＝自宅や職場でもない、居心地の良いカフェ等の「第3の場所」のこと／ex.バー等）創出による手法で交流を深めている。

今回はこのワンコインナイトに青年部会員へのサポート事業として、様々な基礎知識を割安で提供する「夜学の会」を含めた青年部会らしい企画の第一弾とする。

サポート事業第一弾は、若手会員・賛助会員の必須項目「建築基準法の基礎」を学ぶこととし、賛助会員でもある神奈川県建築安全協会の飯田正典氏を講師にお迎えし、社内での新人教育に用いる講習内容をご講義いただく。

周知：会員情報メールとロコミによるため、理事の皆様にも周知協力をお願いしたい。

(質問等)

- ・参加について年齢制限はありますか。

→ ありませんが、定員以上となった場合は、ご協力を頂く場合もございますので、ご了承頂きたい。

以上、原案通り実施が承認された。

第6号議案 ㈱総合資格との覚書締結について承認を求める件

資料 1-5 により、磯部事務局長から以下の通り説明。

講座割引支援に関する覚書の内容および割引対象講座について(対象は、会員及び所員)

以上、原案通り承認された。

(ご意見等)

- ・割引を多くして頂きたいとの意見があり、㈱総合資格へ要望する。

2 報告事項

第1号報告 会員入会等の報告

資料 2-1 により磯部事務局長が報告。

- ・入会 () は指定代表者名

横浜支部 富井建築工房(富井 洋二)

横浜支部 斎藤信吾建築設計事務所(斎藤 信吾)

- ・退会 () は指定代表者名

横浜支部 Rew Clasie 坂 一級建築士事務所(坂 瑞貴)

横浜支部 有限会社 a c a a 建築研究所(岸本 和彦)

横浜支部 末吉アーキテクツ・オフィス(末吉 哲哉)

横浜支部 ライフアップステージ 2 級建築士事務所(笠井 勇人)

茅ヶ崎寒川支部 青木建築設計事務所(青木 徳幸)

川崎支部 株式会社なごみ建築設計(柴田 奈津子)

以上、入会 2 社、退会 6 社 会員数 7 5 2 社

- ・賛助会入退会 なし 現在会員数 98 社

第 2 号報告 大和市からの依頼対応についての報告（正副会長専決）

資料 2-2 により、11/16 理事会において推薦者を正副会長の専決事項とすることが承認され、指導委員会から推薦された以下の方を 11/20 付で推薦したことを磯部事務局長が報告。

大和市長より公共工事のやり直し指示に関する第三者調査等業務委託に係る会員の推薦依頼。

委託期間：契約締結日から令和 6 年 3 月 31 日まで

業務内容：公共工事のやり直し指示に関する第三者調査

推薦人数：1 名（特定の政党に所属しておらず、かつ、本件に係る関係者との利害関係を有しない方）

推薦者：梅澤 典雄 様（指導委員 鎌倉支部 一級建築士事務所梅沢典雄設計事務所）

第 3 号報告 後援等の報告（正副会長専決 3 件）

資料 2-3 により、正副会長にて専決した 3 件の後援について磯部事務局長が報告。

①12/8 付け 横浜市建築設計協同組合依頼

2/17 開催 令和 5 年度「建築セミナー2023」（12/11 付けで承諾）

②11/14 付け 日本建築学会関東支部神奈川支所依頼（11/22 付けで承諾）

1/18 開催 ～新しい耐震診断・耐震補強方法～ 建物の耐震化のポイントを考える講演会

③11/15 付け 一般財団法人神奈川県建築安全協会依頼（11/22 付けで承諾）

12/5～12/18 開催 「第 65 回神奈川建築コンクール入賞作品展」

第 4 号報告 建築士事務所登録（11 月）の報告

資料 2-4 により、磯部事務局長が報告。

<新規登録事務所>

11 月 一級：21 件、二級：8 件、木造：0 件

<更新登録事務所>

11 月 一級：50 件、二級：17 件、木造：0 件

<登録証明発行>

11 月：15 件

以上、11 月手数料収入合計：1,417,000 円。

<変更>

1 1 月 一級：81 件、二級：15 件、木造：0 件

<廃業>

1 1 月 一級：14 件、二級：3 件、木造：0 件

<期間満了抹消>

1 1 月 一級：6 件、二級：5 件、木造：0 件

<閲覧> 1 1 月：8 件

3 検討事項

(1) 支部長会・ブロック支部委員会の役割についての経過報告等

- ・資料 3-1 により、古谷総財務委員長から前回理事会での検討経過等を説明し、確認。

<11/16 理事会の内容> ※11/16 以前の内容は記載省略。

- ・以下の参考資料を配布。

○ブロック別理事推薦配分（平成 17 年度より実施）

理事候補者の数は、原則、ブロック長である支部長 8 名、専務理事 1 名、ブロック人数配分（平成 21 年 2 月 1 日現在の会員数を勘案し、ドント方式による）にて選出される 16 名の合計 25 名とする。ブロック長については、原則支部長とし、ブロック支部委員会を担当するものとする。

○ブロック支部委員の推薦について（内規）（平成 22 年 10 月 14 日理事会承認事項）

ブロック支部委員会の委員は、支部長の代表であるブロック長が原則なることとなっておりますが、ブロックの事情により必ずしもブロック長が委員として選出できない場合がある。そこで、ブロック長以外の者をブロック支部委員会の委員として選出する場合の取扱いについて、下記のように内規として定めたい。

記

- ①ブロック長とブロック支部委員が異なる場合は、ブロック長はブロック支部委員会において議題となる内容について、ブロック支部委員にブロック長の権限を委任すること。
- ②ブロック長は、ブロック長でない者をブロック支部委員に推薦する場合には、①のことを了解した上で、理由書と委任状を添付すること。
ただし、選出するブロック支部委員は神事協理事でなければならない。
- ③理由書、委任状は、ブロック支部委員会で定めた様式によるものとする。
- ④理由書、委任状の様式は、理事会に報告するものとする。
- ⑤ブロック支部委員は、各会議（委員長会、ブロック支部委員会等）に出席した場合必ずブロック及び支部へ会議内容等を明確に伝達すること。
例えば、議事録に沿って報告書を作成する等
- ⑥この内規を変更する場合は理事会の承認を得るものとする。

- ・引き続き、役割を見直すことを目的に 12/4 ブロック支部委員会で検討を実施することとした。

- ・ブロック支部委員会より以下の通り経過報告された。

＜2023. 12. 4 ブロック支部委員会の内容＞

- ・結論には至っていないが、慎重な検討が必要と考えている。
委員会名称の変更等も視野に検討する。
- ・ブロック支部委員会の役割としては、
地引網、スポーツ大会など会員の交流（福利厚生事業の実施）
ブロック間の交流
入会促進（会員増強活動）事業として、新規開設「建築士事務所」講習会の実施
支部長合同ブロック支部委員会の実施運営
しごと展の実施

（ブロック支部委員会発足の経緯など）

- ・支部からの意見（支部長からの意見等も含め）を理事会にあげることが仕事であった。
- ・委員は、理事（ブロック長でもあり、支部長であった。）として権限を持たせていた。
- ・スポーツ大会は、支部との関わりもあることから担当することとなった。
また、地引網は、後から実施することとなった。

（ご意見等）

- ・支部長会とブロック支部委員会が、同様な内容を実施しているとの話が根本にあり、検討しているのでは。
→ シンプルな組織を目指すために検討頂いている。現状との相違を見直し、良い方向に進めて頂きたい。
- ・当初の目的と現在の活動が異なっていると言われても困る。支部からの意見吸い上げは、別でも出来るのか。
→ 役割は当初と変わっていても良い。
- ・しごと展の実施については、支部で完結してしまっているのが、有機的に繋げていけないか。
→ 県内で回していく等も含め、仕組みづくりを検討する。
- ・新規開設「建築士事務所」講習会は、支部とブロックの方々に任せてしまっているのが、委員会の活動紹介や会のメリットも内容に盛り込むことを検討している。

＜結論＞

- ・12/22 支部長会でも議題とし、検討を実施することとした。
また、次回理事会では検討事項とはせず、必要がある時にブロック支部委員会より提案頂くこととした。

（2）講習会等のアーカイブ配信についての経過報告等

- ・資料 3-2 により、古谷総財務委員長から前回理事会での検討経過等を説明し、確認。

<11/16 理事会の内容> ※11/16 以前の内容は記載省略。

- ・引き続き、論点整理も含め、広報情報委員会と業務支援委員会で検討することとした。

<12/8 広報情報委員会の内容>

- ・動画の課金ストリーミング配信は、HPとは別の機能が必要になり、専門の業者へお願いをすることとなる。基本的には月額が発生するようなイメージです。
(ホームページ作成会社より)
そのため、システムを入れた内容(月額利用料5万円程度)で、次年度予算案を提出予定。
- ・東京会も同様な検討をしているが、進んでいない状況。

(ご意見等)

- ・指導委員会では、必修研修をビデオで撮影し、後日ビデオ研修を実施していた。
- ・ウェビナー録画はクオリティが良い。
- ・内容のチェックは、担当副会長、委員長を含め、委員会で実施すれば良いのでは。
委員会の責任で実施する。
- ・引用も含めて、講師にも確認し、後日配信について了解を得ている。
- ・細かいところは、実施しながら詰めて行けばよいのでは。
- ・録画配信の考え方としては、期間を設けて配信の方が良い。
- ・動画を掲載するだけで良いのか。法的なチェックや編集なども必要では。
- ・料金をとってまでやるべきものなのか。システム利用で月5万円に対しての効果が見込めるのか。
- ・1/22開催の事業承継セミナーの実施に際し、講師へ打診し、1か月であればビデオ配信可であると了承を得た。ルール作りの工程を作成した方が良い。

<結論>

- ・最低限の条件を業務支援委員会で検討し、技術的なものは広報情報委員会で検討することとした。
- ・SNSガイドラインを作成し、運営するよう検討中。次回理事会の検討事項として提出予定であることが報告された。

(3) 次年度委員会予算(案)について

- ・資料3-3により、各委員会より予算要求案を説明。

(ご意見等)

- ・全国大会で、女性交流会が実施されるため、出席者に対する補助金を予算化して欲しい。
- ・指導委員会で、サポートセンターコンテンツの「実務文書フォーマット」を担当して頂けないか。
→ 依頼があれば、実施する。
- ・青年部会運営委員会のアピールカード作成費は、サポートセンター事業では無いのでは。
- ・木造特別委員会の講習会は、評判が良い。
- ・日事連の令和6年度単位会組織強化支援事業の活用をしては。(2月28日申請締切)
- ・同好会への補助金も検討しては。

<結論>

- ・現状、マイナス予算となっている。
年内に総事業費を検討し、内容を見て総財務委員会よりメッセージを送付する場合もあるので、その際に対応をお願いした。
- ・今後のスケジュール：
1/26 までに再提出依頼（ある場合）、2月総財務委員会でとりまとめ。2月理事会で検討。
3月理事会へ上程し、承認を頂く。

4 各委員会報告等

①委員会報告

資料 4-1 等により各委員会から報告された。

総財務委員会：12/7

業務支援委員会：11/28・12/13

広報情報委員会：11/21・11/28・12/8

ブロック支部委員会：12/4

法制委員会：開催なし

指導委員会：12/14

青年部会運営委員会：12/8

建築物耐震改修評価特別委員会・専門員会：12/15

「住・緑・家」運営特別委員会：11/21

マンション等の大規模修繕業務特別委員会：開催なし

景観・まちづくり特別委員会：12/11

災害時対策特別委員会：開催なし

会報誌編集特別委員会：開催なし

木造特別委員会：開催なし

②「会員サポートセンター」開設に向けた進捗報告（業務支援・広報情報）

資料 4-2 により、鈴木業務支援委員長および白川広報情報委員長から以下の通り報告された。

<令和5年11月28日 業務支援委員会・広報情報委員会 正副合同会議>

①コンテンツの整理と対応についての報告

	コンテンツ内容	対応内容など
--	---------	--------

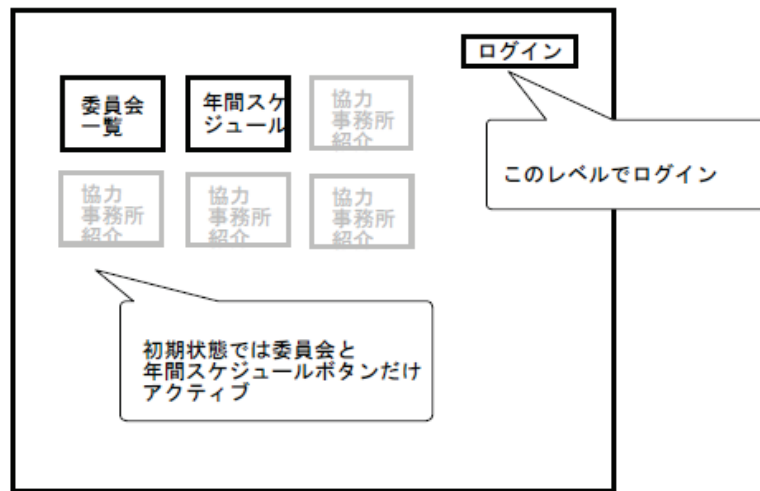
①	協力事務所紹介サービス	HP作成会社へは検索システムのイメージは伝えているが、本来のイメージ（指示書・ユーザーインターフェース）を鈴木業務支援委員長が作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。 他のサイトのイメージ紹介でも良い。 データについては、一次提出、二次提出等、時期を分けて行う。
②	講習会アーカイブ	東京会のご担当者からも進捗したとの連絡無し。 現段階では難しいため、「Coming Soon」とする。
③	実務文書フォーマット	JAAF-MST の紹介（日事連HPへリンク） 鈴木業務支援委員長が掲載原稿を作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。 設計図書保管サービスの情報（案内文書含む）を鈴木業務支援委員長が作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。
④	講習会の開催情報（年間スケジュール）	業務支援委員会でマトリックスを作成し、全手の委員会へ提出依頼中。 とりあえず、今年度分の情報を掲載する。 支部の情報もあるため、カレンダー式と一覧表式の両方が必要。切り替えができるようにする。
	支部スケジュール（年間スケジュール）	リスト表示にし、アイコンで絞れるように検索システムを導入する。 カテゴリー別で色分けした方が良いとの意見もあるが、一度HPを作成してから検討することとした。
⑤	委員会の紹介（業務受注の後方支援）	別枠で次年度対応と考えていた。 サポートセンターではなく、本会HPでの紹介でも良いのでは。業務支援委員会で検討することとした。
⑥	他士業の紹介サービス	協定締結は、来年度早々となると思われるので、「Coming Soon」となる。
	廃業支援サービス	鈴木業務支援委員長が掲載原稿（ユーザーインターフェース）を作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。
⑦	保証サービス （災害補償、クロージング手続き）	(有)日事連サービスへリンク 鈴木業務支援委員長が掲載原稿（ユーザーインターフェース）を作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。
⑧	ホームページ開設支援サービス	情報提供程度とし、広報情報委員会で担当する。
⑨	事業承継の支援サービス	鈴木業務支援委員長が掲載原稿（ユーザーインターフェース）を作成し、12月中旬までに広報情報委員会へ提出する。

<令和5年12月8日 広報情報委員会>

①紙チラシ（両面カラー）作成について（見積作成依頼）

②「会員サポートセンター」ホームページ作成について

○神事協 HP から会員サポートセンターのボタン押下で専用 HP に入った際の画面について



<必要なボタン>

- 1.協力事務所紹介
- 2.講習会アーカイブ
- 3.実務文書フォーマット(設計図書保管含む)
- 4.年間スケジュール(支部含む)
- 5.委員会一覧ページ
- 6.他土業の紹介サービス(廃業支援含む)
- 7.保証サービス
- 8.ホームページ開設支援サービス
- 9.事業承継の支援サービス

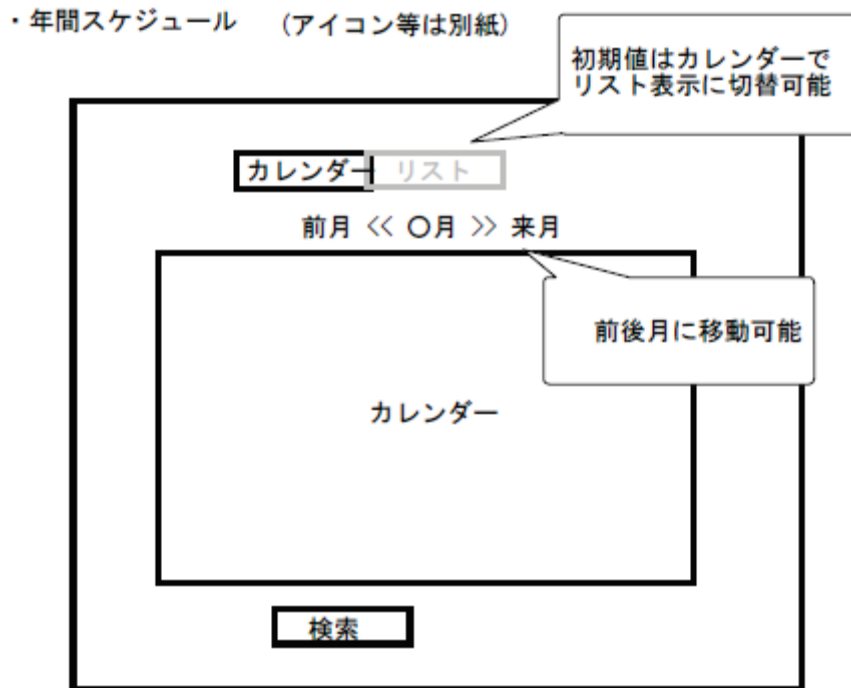
・イメージ（案）を提出して頂くよう依頼した。

○委員会一覧ページ

- ・全委員会分の一覧画面。常設委員会と特別委員会を分ける。
ボタンクリックにより委員会の HP に飛ぶようにする。
HP を持たない委員会のボタンは、非アクティブとする。

＜常設委員会＞			
総財務委員会	業務支援委員会	広報情報委員会	ブロック支部委員会
指導委員会		青年部会運営委員会	
＜特別委員会＞			
建築物耐震改修評価特別委員会		「住・緑・家」運営特別委員会	
景観・まちづくり特別委員会		マンション等の大規模修繕業務特別委員会	
会報誌編集特別委員会		災害時対策特別委員会	
木造特別委員会			

○年間スケジュールページ



※必ずスケジュールの登録、変更、削除を事務局で行うことができるメンテナンス画面が必要。

- ・カレンダー表示について
 - 当月が初期値
 - 分野別カテゴリーのアイコンと講習会名を表示（講習会名は可能な文字数で）
 - 講習会名のクリックで詳細表示のポップアップ
- ・リスト表示について（表示形式は別紙）
 - 当月が初期値
 - 日付順に表示
 - 全てのアイコンを表示（分野別、構造別、用途別）
 - 講習会名のクリックで詳細表示のポップアップ
- ・検索ボタンについて
 - 全てのカテゴリーのチェックボックスと、日程により検索可能とする。
 - 出力は元画面と同じとする。（カレンダー画面の際には検索結果のカレンダー画面に戻る）

（表示形式イメージ）

2021年度 神事協 年間スケジュール カテゴリー一覧

予定年月	アイコン	講習会名/講師/内容	担当委員会/賛助会	分野別カテゴリー							構造別カテゴリー			用途別カテゴリー	
				技術系	環境系	防災系	経営系	福祉系	社会・福祉	日事連系	RC造	木造	S造	住宅系	非住宅系
2022/3/4 Web	 	講習会名/講師/内容 「伝統的構法による住まいの造り方」 「限界耐力計算の簡易設計法の紹介」 (株) 信工房 一級建築士事務所 山中信悟 概要 昨年度講習会の続編として石場建てによる設計の解説と完成までを写真等で紹介する。 分野 ■新築 構造 ■木造 用途 ■住宅/■社寺仏閣	■木造専門委員会												
				○						○		○			

○実務文書フォーマットページ

- ・ JAAF-MST のリンクと設計図書保管サービスの紹介ページとする
文章は以下の通りとする

JAAF-MST のご紹介

JAAF-MST とは、建築士事務所のマネージメント支援ツールでジャーフ・マストと読みます。

神事協の上部団体である日自連が作成したソフトで2013年から約10年の実績があります。

新たに建築士事務所を立ち上げたばかりだと業務報酬の相場も分かりにくいものですが、JAAF-MST には業務報酬算定機能がありますので心配はいりません。

プロジェクト管理、業務報酬算定、年次報告書の作成と様々な機能が盛り込まれています。

しかも、神事協会員は利用無料！

ここからダウンロードできます。<https://www.njr.or.jp/list/01259.html>

※正規版の JAAF-MST がダウンロード可能なのは上記のサイトになります。

他のサイトからダウンロード可能な JAAF-MST は機能制限版になります。

- ・ 設計図書保管サービス(参考)

法令で定められた図面や構造計算書、監理報告書など、建築士事務所では15年間の保存を義務付けられています。

それ以外にも、契約や経営にかかる書類などもあり、事務所のスペースを圧迫することになります。

年々増え続ける書類やデータを外部保管できるサービスを紹介します。

※神事協では貴社の書類やデータを直接保管できません。

あくまでも保管できるサービスの紹介になります。

○データ保管

<OneDrive> <https://www.microsoft.com/ja-jp/office/homeuse/onedrive-about>

<GoogleDrive> <https://www.google.com/intl/ja/drive/>

<DropBox> <https://www.dropbox.com/>

各社とも、無料から一定の容量以上で有料になります。

その他にオンラインストレージサービスはありますが、神事協会員が多く利用しているサービスを紹介しています。

※契約は直接行っていただくため、神事協には一切の責任は生じません。

○協力事務所紹介サービス（項目については別紙参照）

- ・ 項目により検索可能とする。項目は以下とする
設計事務所名（○○を含む検索）
事務所資格
対応業務1、2
自由文字列(○○を含む全項目検索)

- ・出力はリスト形式とする。（設計事務所名昇順のソート）

（案）協力事務所紹介サービス 項目リスト

対象：会員のみ

設計事務所名	(設計事務所名)	
事務所資格	☐ 一級、 ☐ 二級、 ☐ 木造	
担当者名	(担当者名)	
所属支部	(〇〇支部)	
住所	(神奈川県〇〇市〇〇〇-〇)	
T E L	(〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
U R L	(HPアドレス)	
メール	(〇〇@〇〇.〇〇) ※HPは迷惑メール対策のため非表示にし、問合せフォームで対応予定です。	
対応業務1	設計 兼業 用途	☐ 意匠設計、 ☐ 構造設計、 ☐ 電気設備設計、 ☐ 機械設備設計、 ☐ 積算、 ☐ その他（例：開発、パース作成、図面作成） ☐ 不動産業（兼業）、 ☐ 測量業（兼業）、 ☐ その他（ ） ☐ 戸建て住宅、 ☐ 集合住宅、 ☐ 商業建築、 ☐ 公共建築、 ☐ 伝統建築、 ☐ その他（ ） ☐ 新築、 ☐ 改修、 ☐ その他（例：コンサル）
対応業務2	☐ 設計監理 ☐ 耐震診断・補強 ☐ 大規模修繕 ☐ 建物調査鑑定 ☐ 定期調査報告 ☐ 建設業（兼業）	☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ） ☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ） ☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ） ☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ） ☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ） ☐ 木造、 ☐ S造、 ☐ RC造、 ☐ SRC造、 ☐ その他（ ）
所属団体	☒ 建築士事務所協会、 ☐ 建築士会、 ☐ 日本建築家協会、 ☐ 日本建築学会、 ☐ その他（ ）	
建賠（けんばい）	☐ 加入、 ☐ 非加入 ※建築士事務所賠償責任保険or建築士賠償責任補償制度or建築家賠償責任保険	
CPD制度	☐ 登録、 ☐ 非登録	
使用CAD<任意>	☐ Jw-cad、 ☐ AutoCAD、 ☐ Vectorworks、 ☐ DRA-CAD、 ☐ ARCHITREND、 ☐ SketchUp、 ☐ その他（ ）	
使用BIM<任意>	☐ Archicad、 ☐ Revit、 ☐ Vectorworks、 ☐ GLOOBE、 ☐ その他（ ）	
使用ソフト<任意>	☐ Photoshop、 ☐ Illustrator、 ☐ パワーポイント、 ☐ R I B C	
使用ソフト（構造解析）<任意>	☐ Super Build/SS7、 ☐ BUILD.一貫、 ☐ その他（ ）	
備考欄<任意>	(自由記載)	
顔写真<任意>	(3MB以下/幅×高さ=4000×4000ピクセル以下/.jpg、.jpeg ×1枚)	

- ・仕事の協力を募集するページ（掲示板）の作成について
→ 誰でも掲示板に掲載できるようにするのはNG。
掲載したい方が事務局へ連絡し、内容確認後に掲載する方法が良いのでは。

○ホームページ開設支援サービス

- ・掲載案を報告。

ホームページを開設したいけど、

- ・開設が必要か？
- ・どうやって作るか？
- ・コストは？

そんな疑問を少しでも解消し、業務支援の橋渡しに役立ってほしいと思います。

○ホームページ（HP）開設には、事前にいくつかの検討が必要です。

1) 目的

何のために HP を開設するのか

2) 自作か外注か

外注のほうが費用は掛かりますが、自作の場合は自身の労力がかかります。

3) 費用

目的に対し、初期費用と維持費用について検討する必要があります。

○自作で HP を開設するには？

自作で HP を開設している神事協の会員は、多くの方が WordPress、Jimdo を利用しています。

- ・ WordPress

<https://ja.wordpress.org/>

- ・ WordPress

<https://www.jimdo.com/jp/>

無料コンテンツから初め、必要に応じて有料にステップアップになります。（無料版のみでも可能です。）

- ・個別業者の紹介は、賛助会員であれば可能であるため、株式会社メディアプライムスタイル様へ賛助会員の案内をする。

○保証サービス

- ・掲載案を報告。

【業務災害補償制度「団体保険制度」】

日事連が全国中小企業団体中央会に入会したことにより、事務所協会の会員は、割安な団体保険制度や福利厚生制度への加入が可能となりました。

本制度は、業務災害リスクから事業者と従業員を守るための様々な補償サービスがありますので（会員事務所の損害賠償リスク、役員・従業員のケガの補償等）、詳しくは、日事連ホームページをご覧ください。

事務所協会正会員の皆さまへ [全国中小企業団体中央会の制度が利用可能になりました]

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 (njr.or.jp)

【クロージング手続き費用サービス】

建築士事務所が就業不能になった場合の残務業務をサポートする場合にかかる費用を補償するサービスです。

例えば、A 事務所が仕事途中で継続できなくなった場合、同じ支部会員の他の事務所が、その仕事を引き受けたり、発注者（委託者）との折衝などを行ったりして、サポートしている現状があると思いますが、それにかかる費用を補償するものです。

本サービスは、現在、日事連サービスにて検討中です。スタートしましたら、改めてご案内いたします。

○事業承継の支援サービス

- ・今年度は実績報告と予告だけとし、文章は以下の通りとする。

事業承継は突然必要になることもあります。

転ばぬ先の杖、として前持って知識を蓄えておきましょう。

令和5年度は2024/1/22に「事業承継入門セミナー」を開催しました。

令和6年度はシリーズ化して様々な事業承継のセミナーを開きます。

○未実装ページ

- ・講習会アーカイブ
- ・他士業の紹介サービス
- ・廃業支援サービス

いずれもボタンを非アクティブ化するか coming soon 画面とする。

<令和5年12月13日 業務支援委員会>

①協力事務所紹介サービス（会員専用）について

- ・登録事務所の募集（フォームズ）について

→ 会員メーリングリストで早急に送付することとした。締切：年内

また、12/22開催の支部長会でも協力依頼を実施するため、依頼文書（案）を作成することとした。（QRコードを作成し、依頼文へ記載する。）

集計については、業務支援委員会で行う。

- ・一般向けデータベース（既存）

→ しばらくは、主旨目的が異なるため、共存となるが、今後の取扱いについては、広報情報委員会へお任せすることとした。

②他士業紹介サービス（他団体との協定検討）について

- ・1月29日に神奈川県行政書士会との意見交換会を実施。

総財務委員会からも出席されるため、橋渡しをし、協定締結を進めて頂くよう依頼予定。

③講習会・支部年間スケジュール関係について

- ・支部アイコン（案）が磯委員より提出され、確認。
→ 茅ヶ崎支部を茅ヶ崎寒川支部へ修正する。
- ・アイコンは、ホームページの関係もあるため、広報情報委員会で調整頂くこととした。
- ・支部スケジュールの反映方法については、報告を提出して頂く内容やフォーマット（フォームズで作成）する等を含め今後検討することとした。

以上を報告した。

併せて、以下の点を相談し、それぞれ了承等された。

- ・今後の進め方については、業務支援委員会と広報情報委員会に一任頂きたい。
→ 了承された。
- ・1/25 賀詞交歓会開始前にホームページイメージ等の発表する時間（5分）を頂戴したい。
→ 1/19 理事会でイメージを確認し、その内容を発表する。
方法等については、総財務委員会で検討することとした。
- ・「会員サポートセンター」関係事業で各委員会から支出があるものを1月中に提出いただくようお願いした。（会議費以外）

5 日事連関係の報告

①12/14 第140回建築士事務所協会全国会長会議

平山会長と白井日事連副会長より、以下が報告された。

- ・事務所登録手数料等（変更届の有料化含む）の見直しのための要望活動について全国的に単位会から行政へ実施。行政から国交省への要望は、未実施も多い状況。
- ・今後の支援事業の実施に向けた推奨モデル事業の発表について
神奈川会より、評価の高かった「しごと展」等の実践を通じた入会促進強化の調査研究と「住・緑・家」デザインコンペティション作品集の編集についてが報告された。

6 その他

（1）行事日程等

- ・資料 6-1 により、古谷総財務委員長から主な会議等が報告され、確認をお願いした。

理事会：1/19、2/19、3/21、4/18、5/21、6/20、7/18、8/22、9/19、10/17、11/21、12/19
2025/1/16、2025/2/20、2025/3/21

(2) その他

①2023 年度「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」
WEB 講習会【全構造編】のご案内（申込受付業務実施）

資料 6-2 により、磯部事務局長が説明。

平成 30 年度に講習を受講し、技術者証を申請した方は令和 6 年 3 月末が有効期間満了となるため、更新を希望する場合は本講習会を受講し、再申請が必要。

受講申込期間：令和 5 年 12 月 6 日（水）～令和 6 年 2 月 6 日（火）

受講期間：令和 6 年 2 月 21 日（水）～3 月 20 日（水）

詳細：<https://j-kana.or.jp/2023hisaidokubunnhantei.pdf>

②神事協における建築士事務所登録事務のオンライン化について

資料 6-3 により、酒井専務理事が以下の通り説明。

神奈川県指定事務所登録機関として行っている建築士事務所登録等事務につきまして、国土交通省より「建築士事務所登録のオンライン化」（令和 3 年 12 月 1 日事務連絡）が通知され、当会においても一般財団法人建築行政情報センターが提供する「建築士事務所登録受付システム（令和 6 年度まで試行期間のため利用料無償）」を利用した新規登録のオンライン受付を令和 4 年 9 月に開始いたしました。

本年 9 月に国土交通省が受付システムのすべての機能（更新、変更、廃業等）を公開予定であることが神奈川県を通じて通知されたことに伴い、テスト環境での操作確認、申請者向けの操作説明書の整備を進めておりますが、このたび、国土交通省ウェブサイトにて「令和 6 年 1 月 9 日 9 時より追加機能リリース（予定）」として周知されたことを受け、当会においても遅滞なく全手続のオンライン受付に対応したく、これまでと今後の動向について以下の通りご報告をさせていただきます。

1. これまでの動き

令和 3 年 12 月 1 日	国土交通省 事務連絡「建築士事務所登録のオンライン化」
令和 4 年 6 月 27 日	国土交通省主催 「建築士事務所登録受付システム」 操作説明会 ※全国共通システム運用が決定
令和 4 年 7 月 15 日	オンラインによる建築士事務所登録実施に伴う規程等改正 (理事会承認)
令和 4 年 9 月 1 日	「建築士事務所登録受付システム（※新規のみ）」 一般公開 新規登録のオンライン受付開始 (～R5.11 受付実績 新規 326 件中 114 件)
令和 5 年 9 月上旬	国土交通省主催「建築士事務所登録受付システム（追加機能）」 操作説明会
令和 5 年 10 月～	追加機能の操作確認、操作説明書等の整備
令和 5 年 12 月 6 日	国土交通省 ウェブサイトにて令和 6 年 1 月 6 日 9 時より追加機能を

	リリース（予定）及び都道府県別オンライン対応状況を周知
令和５年１２月１１日	建築士事務所登録のオンライン化についての状況報告 (正副会長会報告)

２．今後の動き

令和５年１２月１８日	建築士事務所登録のオンライン化についての状況報告 (理事会報告)
令和５年１２月	神事協版オンライン受付操作説明書等の仕様確定（事務局決裁） 及び神奈川県建築安全課への提出
令和６年１月９日	「建築士事務所登録受付システム（全機能）」一般公開（予定） すべての登録申請のオンライン受付開始（予定）
令和６年度	利用料有償化に向けて神奈川県建築安全課と調整・予算計上 ※年間４７万円増額見込（R5.10.27 国土交通省提供資料より） (参考) R５年度 共用データベースシステム年間利用料 731,500 円
令和７年度～	建築士事務所登録受付システム本格運用開始（利用料有償化）

３．参考資料

- ・国土交通省住宅局建築指導課提供 建築士事務所登録オンラインシステム利用料
神奈川県利用料：令和６年度まで 900,000 円／令和７年度以降 1,370,000 円

③被災住宅建築士相談員 募集説明会の実施報告（横須賀・小田原）

資料 6-4 により、永島理事より以下の通り報告。

説明会事業が終了したため、報告書を作成し、請求予定。

また、12/22 支部長会でも報告することとした。（説明者：永島理事）

④令和５年度建築士事務所経営者向け B I M 講習会の実施報告

資料 6-5 により、磯部事務局長より以下内容と日事連へ実施費用を請求したことを報告。

開催日：2023 年 12 月 1 日（金）13:30～16:50

会 場：横浜市技能文化会館 2 階 多目的ホール

参 加：45 人 <内訳> 会員 35 人 非会員 10 人

請求額：238,600 円

動画公開予定：12/18 午後より <https://bimgate.jp/e-learning/>

⑤（公社）かながわ住まいまちづくり協会臨時理事会の報告

資料 6-6 により、永島理事より出席が報告された。

日時：令和５年 12 月 4 日（月）14:00～15:15

会場：神奈川県建設会館 411 号室

内容：・令和５年度事業計画の変更および収支補正予算について

- ・ 特定費用準備金の運用について
- ・ 個人情報保護規定の変更について

⑥理事会の設定時間について

- ・ 古谷総財務委員長より、設定時間を超過していることが多いので、検討していきたい。

○定款第47条により出席した会長及び監事は、議事録に記名押印しなければならない。

会 長	平山 正義	印
監 事	平野 武洋	印
監 事	山本 敏夫	印
監 事	椋 茂廣	印